

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名			部名	生活文化部	
	17064	観光プロモーション推進事業			課名	地域観光課 観光交流G	
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上			財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:まちづくり観光の推進				款	07:商工費
	施策の方向	02:観光地の魅力づくり				項	01:商工費
	戦略プロジェクト	-				目	03:観光費
	事業予定期間		H 21 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等			

目的・概要	対象	亀山市内外の人々
	目的	より多くの方に亀山市を知ってもらい訪れてもらうため、本市が有する観光資源の掘り起こしや魅力の向上を図るとともに、様々な機会を通じて情報発信を図る。
	概要	市内への観光誘客を図るため、様々な機会を捉え、地域資源を活用した体験型講座の実施を含む、地域の魅力を紹介する観光プロモーションを展開する。

事業の計画・実績

令和元年度			令和2年度		令和3年度	
年度計画	○PR効果の高い県内及び近隣県での観光PR ○県や北伊勢広域観光推進会議と連携した観光PR ○広域連携による大型クルーズ船の誘客に向けたPR ○地域資源を活かした体験型講座の実施		○PR効果の高い県内及び近隣県での観光PR ○三重テラス等を活用した東京オリンピック観戦客の誘客に向けたPR ○県や北伊勢広域観光推進会議と連携した観光PR ○広域連携による大型クルーズ船の誘客に向けたPR ○地域資源を活かした体験型講座の実施		○PR効果の高い県内及び近隣県での観光PR ○三重テラス等を活用した三重とこわか国体観戦客の誘客に向けたPR ○県や北伊勢広域観光推進会議と連携した観光PR ○広域連携による大型クルーズ船の誘客に向けたPR ○地域資源を活かした体験型講座の実施	
	○県外交流市イベント参加による観光PR(神奈川県大和市) ○8耐、F1等の地域ブースで観光PRの実施 ○商工会議所、観光協会との連携による大型クルーズ船誘客 ○新名神土山SAでのパンフレット設置(1,000部/月配布) ○三重県観光連盟との連携強化		○三重県観光連盟との連携強化			
事業費	計画額	事業費	1,200千円	1,200千円	1,200千円	
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	1,200千円	1,200千円	1,200千円	
	予算額	事業費	930千円	102千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	930千円	102千円	0千円	
	決算額	事業費	913千円	102千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	913千円	102千円	0千円	
	人件費	総人件費	2,355千円	2,352千円	0千円	
		一般職員	2,355千円	2,352千円	0千円	
所要人員		0.30	0.30			
会計年度任用職員等		0千円	0千円	0千円		
総コスト(+)		3,268千円	2,454千円	0千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%		

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	観光プロモーション実施回数	活動	計画値	10	10
				実績値	8	0
				単位	回	回
	名称	観光案内パンフレット配布数	活動	計画値	3,000	3,000
				実績値	1,500	0
				単位	部	部
	名称	観光入込客数	成果	計画値	125,000	130,000
				実績値	125,112	96,573
				単位	人	人

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 様々な機会を通じて、新たな観光資源の発掘を図る。既存の観光地の周辺で、エコツーリズムの推進等、付加価値を高める努力が必要である。具体的には、亀山7座トレイル事業を主にした、トレッキング、サイクリング等のエコツーリズムの推進、一方でフィルコミッションによる映画の聖地の発信、食の観光資源等の発信により、新たな市の魅力を提案していく。また、市、観光協会、三重県観光連盟との連携を密にし、HPやSNSを通じて、より効果的な情報発信に努めていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 コロナ禍により、クルーズ船の訪問客やイベント等を通じたプロモーション活動は実施できなかった。これまでバス旅行を主とした団体客から個人客へ移行していることから、旅前のインターネット検索で目的地として検索しやすいよう環境整備として、全国的にアクセス数の多い三重県観光連盟のHP「観光三重」に市内観光のコンテンツを追加した。

評価		(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 コロナ禍により、クルーズ船の訪問客やイベント等を通じたプロモーション活動は実施できなかった。これまでの団体訪問から個人客へ移行していることから、旅前のインターネット検索で目的地として検索しやすいよう環境整備として、全国的にアクセス数の多い三重県観光連盟のHP「観光三重」に市内観光のコンテンツを追加した。 また、亀山商工会議所が主管する亀山市観光連携会議で、亀山観光ツイッターを開設し、日々の観光情報をリアルタイムで発信した。 C あまり実施できなかった
	成果	【成果は順調に上がったか】 これまでの観光プロモーションの事業内容が実施できず、十分なPRは実施できなかった。また、入込客数は低減した。 C あまり成果を得られなかった

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 これまでは、「団体旅行で、並んでも楽しみたい、時間に追われる観光地めぐり」から、「人込みは避ける、近隣の地方部でゆっくり魅力再発見、個人旅行」と観光の質が変化してきている。	今後の方向性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 観光の質が、個人旅行へ移行すると、観光地はよりいっそうの本物志向の整備が求められ、旅前のインターネット検索で安全な観光地として対象となるか、旅中で楽しめる内容があるかが問われていくと思われる。このことから、閑宿では山車会館など見ごたえのある施設整備は行われてきているため、今後は、より一層の情報発信の重要性が増していくことが想定され、早急に対応していく必要がある。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 コロナ禍で、安心してゆっくりと見ごたえのある内容を提供することにより、数値目標では表れにくい、リピート効果は期待でき、これまでと違う人との交流が深く醸成されるものとする。	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	生活文化部 地域観光課 観光交流グループリーダー 木田博人
【最終評価者】	生活文化部 地域観光課長 木田博人

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	C	
	成果	B	B	B	C	

■ 令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		102 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	102 千円
	令和3年度への繰越額	千円